令和６年度事業報告書

1.「海の日」普及啓蒙事業

（1）「海の日」記念式典の開催

祝日「海の日」記念式典及び海事関係功労者表彰式は、名古屋では、7月24日（水）に「名古屋市公会堂」において、中部運輸局、中部地方整備局、第四管区海上保安本部の主催により、被表彰者、来賓ご出席のもとに盛大に行われました。

当協会から、藤森会長が祝辞を述べました。当協会からは、被表彰者の方にうちわ等グッズを配布しました。

また7月８日には、愛知・岐阜運輸支局長表彰式が開催されました。

その他の地区では、鳥羽地区を除き、例年どおり中部運輸局運輸支局（海事事務所）及び海上保安部等の主催により、関係者の出席のもとに、盛大に表彰式が開催されました。

記念式典開催と被表彰者及び来賓等の出席状況

開催日時	会　　場	被表彰者数	来賓等数	合　計	備　考
7/24	名古屋市公会堂	122	3	125	名古屋
7/24	清水マリナート	105	245	350	清　水
7/24	四日市商工会議所	13	24	37	四日市
未実施	――――	――	――	――	鳥　羽
7/24	きらめきみなと館	20	5	25	敦　賀
7/30	下田市民文化会館	26	9	35	下　田
計		286	286	572	

（2）「海の日」・「海の月間」パレード

中部地区では名古屋市におけるパレードが7月15日に名古屋市西築地小学校から名古屋港ガーデンふ頭まで1時間の行程で行われ、海洋少年団等がガーデンふ頭「つどいの広場」までパレードしました。

（3）「海の日」・「海の月間」広報

「海の日」・「海の月間」行事として各地で行われるイベント等について、中部運輸局の協力をいただき一覧表を製作し運輸局のホームページに掲載するとともに、

ポスターを関係先に配布し広報に努めました。また、当協会も、ホームページに各地の行事を掲載しました。

（4）「海の日」・「海の月間」海岸清掃の実施

名古屋港ガーデンふ頭一帯において、令和6年7月7日に海岸清掃を実施しました（参加者約102名）。その他、実施された地域は、豊橋市高豊海岸（7月15日：参加者約20名）、田子の浦港等（6月2日：参加者約56名）、伊東港（7月12日：約50名）でした。

なお、気比の松原海岸では、清掃に参加する者が高齢となったことから、当面実施しないことになりました。

（5）「海の日」ポスターコンクール入賞作品の展示

日本海事広報協会（以下、本部）が、毎年実施している「海の日」ポスターコンクールで、2024年度の入賞作品9点（大賞1点、優秀賞2点、佳作5点、奨励賞1点）を、本部の要請により7月18日～7月24日までの間、名古屋港ポートビル2階回廊ギャラリーに展示しました。 さらに中部運輸局にもご協力をいただき、7月16日～7月23日までの間、本局では名古屋第一号館で、岐阜運輸支局内及び三重運輸支局内でそれぞれ展示していただき、海事思想の普及啓蒙に努めました。

（6） 中学生の海の絵画コンクール

令和6年度中学生海の絵画コンクールは、経費の確保が難しいことから、残念ながら中止としました。令和7年度も、経費の確保が難しいことから中止としました。今後は、経費の確保が可能であれば、実施する予定です。

2．海事思想普及事業

（1） 海事施設見学会の開催

「船との出会い事業」として、当協会が主催した海事施設見学会は、7月29日に飛島ふ頭南側コンテナターミナルと太平洋フェリー株式会社の「いしかり」の船内見学を計画し、飛島コンテナ埠頭株式会社と太平洋フェリー株式会社から受入れ可能との返事をいただきましたので、見学会を実施しました（参加者23名）。また、令和7年2月に日本郵船株式会社のご協力をいただき、自動車専用船の見学会も計画しましたが、日時が確定しづらいこと及び経費の確保が難しいとの理由により中止としました。

その他、清水港では、浜名湖ボートレース場での取り組みと連携して、7月4日（木）と7月12日（金）に海洋教室を実施しました（参加者86名）。また、福井県坂井港では、7月20日（土）に三国ボートレース場での取り組みと連携して、東尋坊遊覧船の乗船を計画しましたが、悪天候により、越前松島水族館の入場券の配布に変更しました（参加者19名）。

各海事広報協会は、これらの事業を実施するにあたり、参加者には「海のうちわ」、「タオル」、「パンフレット」等の広報資料を配布しました。

（2）「海の日」の旗の掲揚

静岡市清水区、葵区において、国民の祝日「海の日」を広く一般に広報するため、「海の日」の旗を「海の月間」期間中関係行事の開催会場、係留船、及び地元商店街の通りに掲揚しました。

（3） 小学生向け副教材の配布等

本部は、平成30年4月に完成した副教材（①児童用テキスト、②指導書、③ワークブック）を、30年度第2学期に豊橋市内の全小学校に無料提供し、10月に副教材を活用したモデル授業を実施してもらいました。さらに、12月に副教材に関して、教師と児童を対象にアンケートを実施しました。

その後、本部は、令和6年9月に豊橋市内の小学5年生を対象とした出前授業（講師は川崎汽船株式会社の船長）を実施しました。当協会にはお手伝いの要請がなかったことから、参画はしませんでした。

今後とも、副教材の内容の充実を図ることがあれば、当協会も参画し、本部のお手伝いをすることとします。

（4） 広報宣伝資料の発行及び配布

広報宣伝資料の主なものは次のとおりでした。

① ［海の日］広告宣伝ポスター　（7月初旬関係先へ配布）

② 海上の友　（月1回発行　販売）

③ 海事産業施設マップ：敦賀港

当初、福井県海事広報協会にご協力をいただき作成する計画でしたが、本部からこれは海事施設見学会がコロナウイルスの影響で実施できない間の代替措置のため、認められないとの指示をいただいたので、中止としました。

④ 第17回夏休み伊勢湾発見ツアーの実施に向けて実行委員会を設置し、6月25日に実行委員会を開催し、8月23日（金）に感染対策を講じて実施することとしました。

※実行委員会の構成員

山原支部長・宮本執行部員・青崎執行部員：全日本海員組合名古屋支部、

黒田取締役総務部長：名港海運株式会社、

谷水課長：公益財団法人名古屋みなと振興財団、

濱嶋事業部次長：一般財団法人日本モーターボート競走会東海支局、

服部旅客課長：中部運輸局、相田総務課長：中部地方整備局名古屋港湾事務所

太中総務課長：第四管区海上保安本部、伊藤課長：名古屋港管理組合

オブザーバー　山本部長・森岡係長：伊勢湾ﾌｪﾘｰ株式会社

島田団長：中日海洋少年団

中部管内の小中学生と保護者1組5名まで計250名を対象に、6月29日の中日新聞の朝刊に募集広告を掲載したところ、559名の応募があったことから、抽選により250名を選出しました。

当日は、216名（大人101名、子供115名）が参加し、名古屋港ガーデンふ頭からセントレア沖を折り返して帰ってくる約4時間の行程で、船内では、救命胴衣の着用指導、ロープワークの指導、手旗信号の披露、ブリッジ見学などのイベントを実施しました。

令和5年度のアンケートでは、ブリッジ見学を除き、参加場所と時間がわからず、参加しなかったという方が多く見られたので、今回は、船内にイベント場所や時間を掲示しましたが、それでも、場所等がわからず参加しなかったとの意見が多くみられたので、今後はさらなる工夫が必要と思われます。

今回のアンケートでは、57名（配布数67名：子供）の提出があり、イベントや感染対策は概ね好評でした。

主な質問は、次のとおりで、これにより取り組みの一定の成果があったもの思料します。

・「将来大人になったら海や船に関係する仕事をしたいと思いましたか」
　→14名の子供が「はい」と回答していました。

・「今回のツアーは、モーターボート競走の売上金の一部が原資となっていますが、売上金の一部が社会に貢献していることについて、どう思いましたか」
　→「非常によくわかった」「まあまあわかった」併せて45名の方が回答していました。

⑤　出前授業の実施に向けて、名古屋市教育委員会及び校長会会長の了解をいただき、令和6年度では、260校に対して出前授業の申込の案内を令和5年11月に送付したところ、名古屋市立千音寺小学校から申込がありましたので、次のとおり実施しました。

○実 施 日　令和6年10月8日（火）10:45～11:30
○対　　象　小学5年生78名
○実施方法　対面方式
○講　　師　中部運輸局海事振興部：吉田次長
　　日本郵船株式会社名古屋支店：太田船長、
　　日本郵船株式会社本社：近藤二等航海士

事前に児童及び社会科教師にアンケート用紙を配布し、後日送付していただくようお願いしたところ、児童配布数78名に対して77名、及び教師配布数3名に対して3名の提出がありました。

児童から提出があったアンケートは、次のとおりで、これにより出前授業の取り組みの一定の成果があったものと思料します。

・「講師の話を聞いてどう思いましたか」
　→ほとんどの児童が、「とてもおもしろかった」「まあまあおもしろかった」と回答。

・「船長さんのお話の内容は、どう思いましたか」
　→ほとんどの児童が、「よくわかった」「すこしわかった」と回答。
・「船長さんのお話の時間は、どう思いましたか」
　→ほとんどの児童が、「ちょうどよい時間であった」と回答。
・「船長さんのお話を聞いて、海に興味がわきましたか」
　→ほとんどの児童が、「海に関する施設を見学したいと思った」「海に関する仕事について、本やインターネットで調べたいと思った」と回答。
・「海に関係する施設を見学するとしたら、どこが良いと思いますか」
　→多くの児童が「フェリーの船内」と回答。
・「将来大人になったら海や船に関係する仕事をしたいと思いましたか」
　→21名の児童が「はい」と回答。

⑥　夏休み　親子de名古屋港！

日本モーターボート競走会からの助成により、夏休み期間中親子で海に親しんでもらうために、当協会管内の小中学生とその保護者1組2名計50組100名に、名古屋港水族館及び名古屋港ポートビル3施設（展望室、海洋博物館、南極観測船ふじ）の共通入館券を無料で提供し、費用対効果を検証するために、後日アンケート用紙を送付してもらうこととしました。

この取り組みの募集広告を中日新聞の朝刊に掲載したところ、253通の応募があったので、抽選により50組100名を選定し、以下の資料を事前に送付しました。

アンケートを実施したところ、23組から送付があり、各施設とも概ね好評という内容で、また、「将来大人になったら、海や船に関係する仕事をしたいと思いましたか」との問いには、4名の子供が「はい」と回答しており、これにより、十分海に親しんでいただけたものと思料します。

（送付資料）

・4施設共通入館券、中部海事広報協会の取り組み、下敷き、名古屋港イラストマップ、パンフレット(日本と世界をつなぐ海運)、モーターボート競走関係資料、ペーパークラフト（伊勢湾フェリー㈱の伊勢丸）、アンケート用紙

3．地　方　事　業

◎海事施設見学会（中部海事広報協会）

船との出会い事業として、海事施設見学会を次のとおり計画し、受入れ先に了解を頂きましたので、予定どおり実施しました。

日時：7月29日（月）

場所：飛島南側コンテナターミナル、太平洋フェリー株式会社の「いしかり」の船内

対象：名古屋市内の小学3年生～6年生とその保護者10組20名

6月29日（土）の中日新聞の朝刊に募集広告を掲載したところ、69組138名の応募がありましたので、抽選により20組を選出し、関係者3名を加えて23名により実施しました。費用対効果を検証するために、参加者には事前にアンケート用紙を配布し、当日見学会終了後に回収することとしました。アンケートは、配布数10名に対して10名の提出がありました。

アンケートの結果は、次のとおりで、取り組みの一定の効果があったものと思料します。

・「飛島コンテナ埠頭㈱内での説明は、どう思いましたか」
　→全員の児童が、「非常によくわかった」と回答。

・「飛島コンテナ埠頭㈱の部屋からコンテナターミナルを見学されて、どう思いましたか」
　→ほとんどの児童が「非常によかった」と回答。

・「太平洋フェリー㈱の「いしかり」の船内を見学されて、どう思いましたか」
　→全員の児童が、「非常によかった」と回答。

・「太平洋フェリー㈱の「いしかり」の操舵室での説明は、よくわかりましたか」
　→全員の児童が、「非常によくわかった」と回答。

・「海に関係する施設で、他に見学したい場所はありますか」
　→一番多くの児童が「造船所」と回答。

・「配布された各種資料について、どう思いましたか」
　→ほとんどの児童が「非常によかった」と回答

・「あなたは、将来大人になったら海や船に関係する仕事をしたいと思いましたか」
　→4名の児童が「はい」と回答。

◎清水港海洋教室：海事施設見学と体験乗船（静岡県海事広報協会）

静岡市山間部の小学生を令和6年7月４日と7月１２日に86名招待し、清水港内の海事施設見学会を実施しました。参加者には「パンフレット」等の広報資料を配布しました。

◎浜名湖ボートレース場への親子来訪の呼びかけ教室の実施（静岡県海事広報協会）

令和元年12月に同施設内に設置された「ボートレース場の親子の遊び場　浜名湖Mooovi（モーヴィ）」と合わせ、モーターボートレースの収益金による活動領域等々のプレゼンテーション教育を浜名湖ボートレース企業団の方から資料等の提供をいただき、静岡市内の山間部の児童及び先生を対象に実施しました。また、親子での浜名湖ボートレース場への来訪を呼びかけました。また、ボートレース浜名湖を会場とした「見て知って感じて、はまなこSHOW！２０２４」の一部イベントを協賛企画として実施しました。

○実　施　日　　令和6年7月６日及び１２日
○実施場所　　新興津コンテナターミナル管理棟4階多目的ホール等
○参　加　者　　小学生７３名、先生他１３名　計８６名
○実施内容　　・配布資料提供　担当：浜名湖ボートレース企業団宣伝課　宮崎主査

・説明者：静岡県海事広報協会　大島・岡田
・Mooovi浜名湖パンフレットを活用した同施設の説明
・ボートレースの収益金についての説明（収益金が社会に貢献している）
・活動領域 「福祉車両配備」、「歯の妖精」等々の説明
・Mooviの家族入場券、ボートレース浜名湖のオリジナル付箋、
海から回収されたプラスチックを使ったボールペンを加えたセットを配布しました。

●浜名湖ボートレース場内での浜名湖ボートレース企業団との協賛企画の実施

〇実　施　日　　令和6年8月24日（土）25日（日）10:00～16:00
〇実施場所　　ボートレース浜名湖
〇実施内容　　①パドルボート乗船体験
②ボートレースVRスプラッシュバトル
③なりきりボートレーサー
〇参　加　者　　当日開催された「見て知って感じてはまなこSHOW！2024」におけるイベントの一部として開催。当日来場者の自由参加形式。
当日体験者①726名
②男性48名、女性25名、子供157名　計230名
③男性181名、女性186名、子供362名　計729名

◎津ボートレース場を活用した取り組み（三重県海事広報協会）

1．日　時　　令和6年8月23日（金）　9:30～15:30
2．場　所　　三重県津市
3．内　容　　第30回「親子で学習！ヨットに乗船」

海や船と港の役割や大切さを知ってもらうことを目的として、ヨット・ボートに乗船するイベントを実施しました。昨年と同様に伊勢湾海洋スポーツセンター（津ヨットハーバー）で実施しました。

開催にあたり、中部運輸局三重運輸支局四日市庁舎の職員から、四日市港の概要説明と港や船舶について、出前講座を受けました。

伊勢湾海洋スポーツセンター、モーターボート競走会津支部の協力のもと5種類のヨット・ボートに乗船しました。

ヨット・ボートに乗船すること自体が初めての方も多く、「夏の良い思い出になると同時に、貴重な体験ができた」とのアンケートの回答をいただきました。

4．参加者数　小学生または中学生1人と保護者1人をペアとする　合計12組24名
5．協　　賛　　中部運輸局三重運輸支局、（一財）日本モーターボート競走会東海支局、（一財）日本モーターボート競走会津支部、（一財）伊勢湾海洋スポーツセンター

◎三国ボートレース場での取り組み（福井県海事広報協会）

1．事業の実施

1）実　施　日　　令和6年7月20日（土）

2）実施場所　　ボートレース三国

3）実施内容　　ボートレース三国でのバーチャルボートレース体験

モーターボート競走事業と連携し、福井県在住の親子（小中学生）を対象に海事産業やマリンスポーツ等を通じて海の恵みや関わりを体感し、海事思想の普及を図ることを目的に、ボートレース三国でバーチャルボートレース体験を実施しました。

一般公募により、福井県在住の小中学生を含む親子20組40名を募集したところ、11組22名の応募がありましたが、諸事情により、当日は10組19名が参加しました。（保護者10名、子供9名）

当日は、敦賀駅及び福井駅発着にて大型観光バス1台で出発し、次の取り組みを実施しました。ボートレース三国では、モーターボート競走会三国支部の方より競走事業の説明と売上金の一部が社会に貢献していることを説明していただきました。

イ）バーチャルボートレース機器を活用して競技の迫力を体感してもらう。

ロ）体験の結果、三国ボートレース場の内部を自由に見学してもらい、希望者には勝負服を着て写真撮影会も行う。

ハ）モーターボート競走の概要をわかりやすく解説する。

ニ）昨年実施した東尋坊遊覧船の乗船を今年も企画していましたが、天候の影響により欠航となったため、参加者には「越前松島水族館」に入場してもらいました。

【配布資料】・日本財団アニュアルレポート2022

・記念品（トートバッグ、うちわ、ノート、ウエットティッシュ）

2．事業の成果

アンケートを実施したところ、参加者（保護者）10名のうち8名から、各質問について次のとおり回答がありました。

1）これまで三国ボートレース場に来たことはありますか。

→25％の方が初めてと回答

2）VR体験についてお伺いします。

→6名の方が「楽しかった」と回答

3）モーターボート競走「アニュアルレポート」を読んで、どう思いましたか。

→7名の方が「売上金の一部が社会貢献していることが分かった」と回答

4）今回のイベント全体を通してお伺いします。

→100％の方が「大変満足」と回答

以上のとおり、一定の成果があったものと思料します。

4．庶務に関する事項

（1） 理事会･監事会及び総会

【令和6年度第1回理事会･監事会】

令和6年5月9日に名古屋港湾会館において令和6年度第1回理事会･監事会を開催し

次の議題について、決議されました。

1）令和5年度事業報告に関する件

2）令和5年度収支決算の承認に関する件

3）令和6年度役員の推薦に関する件

4）その他

【令和6年度通常総会】

令和6年5月24日に名古屋港湾会館において令和6年度通常総会を開催し、次の議題について、決議されました。

1）令和5年度事業報告及び収支決算の承認に関する件

2）令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）並びに令和6年度以降の会費の口数の増加に関する件の承認に関する件

3）令和6年度役員の推薦に関する件

4）その他

【令和6年度第2回理事会･監事会】

5月24日総会終了後第2回理事会･監事会を開催し、代表理事の選任を行いました。

【令和6年度第3回理事会･監事会】

令和7年2月19日に名古屋港湾会館において令和6年度第3回理事会･監事会を開催し、次の議題について、決議されました。

1）令和7年度事業計画（案）に関する件

2）令和7年度収支予算（案）に関する件

3）令和7年度役員の推薦に関する件

4）その他

（2）全国事務局長会議

令和6年12月17日に東京で、全国海事広報協会事務局長会議が開催されました。

会議では、令和6年度上半期の各協会からの事業進捗報告と本部から令和7年度事業計画の説明があり、質疑応答がなされました。